

〔南大阪看護専門学校 2020年度〕 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 〔実〕：実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
基礎分野	科学的思考の基盤	国語表現	正確な文章の表現の仕方	井上 新子		書き込み式 日本語表現ノート	1	30
		倫理学	倫理とは 看護行為における倫理	桑原 英之		G supple 事例で学ぶケアの倫理	1	30
		生物学	生命現象の基本原則	富山 浩昌		系統看護学講座 基礎分野 生物学	1	30
		看護に必要な物理	力学、移動、圧力などの看護に必要な物理学の考え方	大又 巧也		看護学生のための物理学	1	15
		情報科学	情報化社会 コンピューター プレゼンテーションの基礎	渡辺 恭彦		系統看護学講座 別巻 看護情報学	1	30
	人間と生活・ 社会の理解	心理学	心理学の基礎	高橋 千津子		あなたの心を科学する パージョンⅢ	1	30
		社会学	社会の成り立ち、社会を知る方法	笠井 敬太		系統看護学講座 社会学	1	30
		英語 I・II	英語の基礎 医療で用いる英会話	中内 啓太		現場ですぐに役立つ！実践メディカル英会話	2	60
		健康とレクリエーション	体力の増進と健全な心身の育成	好光 栄智			1	30
		音楽	音楽を通して協調性協働性を育成する	河合 清子		式典歌集 プリント	1	15
	人体の構造と機能	解剖生理学 I～IV	人体の構造と機能	宮越 一穂 〔実〕※1	①医師(2名とも) ②看護に必要な人体の構造と機能を理解する 1)日常生活を営むうえで、人体がどのような構造をもち機能しているかを理解する 2)疾病によって人体が受ける構造と機能の変化を学習する土台となる正常な人体について理解する	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学	4	120
			内分泌系・血液のみ	新藤 光郎 〔実〕※2				
		生化学	人体の仕組みと機能を化学的視点で考える	山本 恵三 〔実〕	①工学博士 ②看護学において、人体を維持する仕組みを理解する上で基本となる、化学的視点を養うことを目標とする 1)生体を構成する分子の構造を生化学的な視点から理解する 2)生体内で化学物質がどのように反応して生命を維持しているかを理解する	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学	1	30
		栄養学	栄養と栄養療法	吉田 有里 〔実〕	①管理栄養士 ②栄養学は人間の健康づくりのための学問であり、その基礎知識を学習することは、臨床で応用する場合に必要な不可欠である。本講義では最新の栄養学的見地に基づいた栄養管理、栄養食事療法への理解を深めながら、看護実践における栄養学的な知識を習得する	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち④臨床栄養学	1	30
		微生物学	病原微生物	新藤 光郎 〔実〕※2	①医師 ②病原微生物について、看護現場で必要な知識を身につける看護現場での感染管理の実践に役立てる	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学	1	30

〔南大阪看護専門学校 2020年度〕 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 〔実〕：実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	病気の原因、発生の機序、病気における臓器、組織の変化	小林 庸次 〔実〕	①医師 ②病理学は病気の原因、発生の機序、病気による臓器・組織の変化、その経過、予後を追求める学問である。病気の原因や各種疾患に共通する変化を学ぶことにより、病気への理解を深め、その治療、予防に対する基礎的知識を会得することを目標とする	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学	1	30
		病態生理学Ⅰ	呼吸器	未定	①医師(東野、中谷の2名)、歯科医師(田村のみ) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 呼吸器	1	12
			免疫・アレルギー感染症	東野 英明 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 アレルギー膠原病感染症		12
			歯・口腔系	田村 浩一 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 歯・口腔		4
			乳癌	中谷 守一 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 女性生殖器		2
		病態生理学Ⅱ	消化器	小味渕 智雄 〔実〕※3	①医師(2名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 消化器	1	22
			栄養・代謝 内分泌	濱崎 健司 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 内分泌・代謝		8
		病態生理学Ⅲ	血液・造血器	新藤 光郎 〔実〕※2	①医師(4名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 血液・造血器	1	8
			腎・泌尿器(透析療法)	久米田 靖郎 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 腎泌尿器		8
			腎・泌尿器(手術療法)	竹垣 嘉訓 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 腎泌尿器		6
			女性生殖器	中村 哲生 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 女性生殖器		8
		病態生理学Ⅳ	運動器	森川 潤一 〔実〕	①医師(2名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 運動器	1	14
			脳神経	新藤 光郎 〔実〕※2		系統看護学講座 成人看護学 脳・神経		16
		病態生理学Ⅴ	循環器	宮越 一穂 〔実〕※1	①医師(4名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 循環器	1	18
			皮膚	清水 奈美 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 皮膚		4
			眼	米本 由美子 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 眼		4
			耳鼻咽喉	宮田 啓史 〔実〕		系統看護学講座 成人看護学 耳鼻咽喉		4
		治療論	概説	飛田 忠之 〔実〕 賀陽 亮太郎 〔実〕	①医師(飛田、嘉陽の2名) ②様々な状況下にある患者の治療方法や リハビリテーション	新体系 看護学全書 臨床看護総論 系統看護学講座 臨床外科看護総論	1	8

〔南大阪看護専門学校 2020年度〕 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 〔実〕:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
			リハビリテーション療法	未定	①理学療法士 ②作業療法士 リハビリテーション療法を学び、基礎的知識とする	系統看護学講座 基礎看護学 臨床看護総論	1	8
		薬理学	薬理学的知識と臨床薬理	梶原 啓伯 [実]	①薬剤師 ②臨床の現場で患者ケアのあたる看護師にとっては、医薬品の作用機序、生体内の動態、有効性、安全性や投与方法など、薬理学的知識とその活用は必要不可欠となる。看護の実践の場で必要とされる臨床薬理学的基礎知識の習得を目指す	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学	1	30
専門基礎分野	社会保障制度と生活者の健康と	医療概論	医療の変遷と現代医療の概要	小味淵 智雄 [実] ※3	①医師 ②1)現在の医療がどのように発展してきたかを理解するとともに、最新の画期的な新技術の活用によってもたらされた現代の医療を理解する 2)現代医療の諸問題について理解できる	新体系 看護学全書 6 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 1 現代医療論	1	15
		社会福祉Ⅰ	概論 社会保障制度	岡本 周佳 [実] ※5	①社会福祉士 ②1)看護職が社会福祉を学ぶ意味を理解し、社会福祉の考え方や視点を理解する 2)現代社会や日常生活における社会問題に気付く力を養い、それらの問題に対応する法律や制度ならびに援助技術を学ぶ	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉	1	15
		公衆衛生学	公衆衛生	吉川 賢太郎 [実]	①医師 ②私たちの生活や健康は、社会の制度に支えられている。公衆衛生学は、健康を支える制度そのものである。公衆衛生の歴史や体制、内容を知り、自らの生活や健康を守り、向上を図るための知識を習得する	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 国民衛生の動向	1	30
		看護学概論Ⅰ	看護とは・看護の歴史的変遷・健康と看護・人間理解・看護の機能・看護と倫理	高岡 操 [実] ※6	①看護師、専任教員 ②この授業では、看護の考え方捉え方を学ぶ。看護についての考え方、捉え方を学んでいく中で、「普遍的な看護」を理解し、自己の看護観の形成へとつなげていくことを目的とする	系統看護学講座 基礎看護学 看護学概論 よくわかる 看護者の倫理綱領 看護覚え書 看護の基本となるもの 看護者の基本的責務	1	30
		基礎看護技術Ⅰ	技術論・環境・安全	山内 雅子 [実] ※7	①看護師(2名とも、夜久は感染管理認定看護師) ②この授業では、看護の方法としての技術のうち、環境の整備、安全の守り方、安楽な技術の提供の方法、感染予防の基礎技術を学ぶことを目的とする	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 よくわかる 看護者の倫理綱領 看護覚え書 看護の基本となるもの	1	18
			感染	夜久 直也 [実]				2
		基礎看護技術Ⅱ	コミュニケーション技術・援助の関係	上田 智恵美 [実] ※14	①看護師、専任教員 ②1)看護の場面におけるコミュニケーションの意義と特性を理解する 2)看護に必要な接遇マナーについて学び、技術を身につける 3)人間関係作りの基礎となるコミュニケーションに関する理論を理解し効果的なコミュニケーションの方法を学ぶ 4)看護における教育的支援の目的を理解し、効果的なアプローチの方法を身につける	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ	1	30

〔南大阪看護専門学校 2020年度〕 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 〔実〕:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
専門分野 I	基礎看護学	基礎看護技術Ⅲ	食事・排泄・活動・運動・休息	井手窪 澄子 〔実〕 ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1)人間の活動と休息を理解し、対象が健康生活を送るために必要な援助を理解する 2)栄養と食事のニーズを充足するための基礎的知識と援助方法を理解する 3)食事行動や健康のレベルなどに応じた栄養と食事のニーズを充足させる方法について効果的な看護の援助技術を習得する 4)人間の排泄を理解し、患者が健康的に生活を送るために必要な排泄援助を習得する	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	30
		基礎看護技術Ⅳ	身体の清潔援助技術	徳田 薫 〔実〕 ※8	①看護師、専任教員 ②身体を清潔に保つことは、人間が健康で生活するためには不可欠である。ここでは、清潔の意義を身体的、精神的、社会的な側面から理解し、援助する方法を習得する 1)清潔、衣生活の意義とその援助の目的を理解する 2)清潔、衣生活の援助技術を習得する	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	30
		基礎看護技術Ⅴ	バイタルサイン・フィジカルアセスメント	高田 紳吾 〔実〕 ※10	①看護師、専任教員 ② 1)ヘルスアセスメント(フィジカルアセスメント)の意義と根拠が理解できる 2)一般状態の観察、バイタルサインを測定することの意義と根拠が理解できる 3)バイタルサイン(呼吸・体温・脈拍・意識)を正確に測定できる 4)フィジカルイグザミネーションが正確に実施できる	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 フィジカルアセスメントガイドブック	1	30
		基礎看護技術Ⅵ	看護過程	東浦 龍至 〔実〕 ※11	①看護師、専任教員 ② 1)科学的思考・問題解決思考に基づく看護過程の展開における思考が理解できる 2)ゴードンの機能的健康パターンによる看護診断に基づいた看護過程を理解し、対象者のニーズを満たすための看護過程の展開方法が理解できる	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		基礎看護技術Ⅶ	与薬 検査	山内 雅子 〔実〕 ※7	①看護師 ② 1)診療過程における看護師の役割を理解し、治療処置に伴う援助技術の基本を習得する 2)与薬を安全かつ正確に行う技術を習得する 3)治療・処置時の対象者の心理と看護者の役割が理解できる	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	30
		基礎看護技術Ⅷ	呼吸 循環を整える技術 救急救命処置	辻野 美嘉 〔実〕 ※18	①看護師(2名とも、村上は皮膚・排泄ケア認定看護師)、専任教員(辻野のみ) ② 1)救急時、終末期における看護の役割を理解し、必要な基礎的な技術を修得する 2)効果的な呼吸への援助方法を習得する 3)安全・安楽な電法の援助方法を習得する	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	26
			創傷管理	村上 巖 〔実〕 ※12				4

〔南大阪看護専門学校 2020年度〕 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
		臨床看護総論	経過別看護・治療処置別看護・主要症状別看護	辻野 美嘉 [実] ※18	①看護師、専任教員 ② 1)多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階の人々に、基本的な看護学の知識や技術を統合し、応用するプロセスを学ぶ 2)看護師に求められる問題解決能力の基礎を学習することで、主体的学習行動を習得することができる	系統看護学講座 基礎看護学 臨床看護総論	1	30
	実臨床	基礎看護学実習Ⅰ						1
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	成人看護学概論	高田 紳吾 [実] ※10	①看護師、専任教員 ② 1)成人の身体的・心理的・社会的側面からとらえ、個人およびその家族の発達段階と発達課題を統合的に理解できる 2)学習者としての成人の特徴をとらえ、健康教育や患者教育の基礎が理解できる 3)成人の生活に焦点を当て、成人期にみられる健康障害や成人の看護に有用な概念について理解できる	系統看護学講座 成人看護学 成人看護学総論	1	30